

広報 にいかっぷ

2019

4

No 632

新冠町
第131回 卒業証書授与式



～それぞれの夢に向かって～

3月22日、新冠小学校で第131回卒業証書授与式が挙行され、50名の卒業生は先生や在校生、保護者に見守られる中、抱えきれない思い出を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

議 会

- 第1回定例会 -

3月6日に招集された第1回定例町議会は、3月14日、全日程を終えて閉会しました。
今定例会では、鳴海町長、山本教育長の行政報告のほか、平成31年度の執行方針や予算などが審議されました。
町長と教育長の行政報告の概要についてお知らせします。



町長行政報告

1 J R日高線にかかる取組等について

J R日高線に係る3案の交通モードについて、町長会議において協議を重ねており、昨年11月に全線復旧を断念し、各町それぞれ議会と調整を踏まえた中で12月以降、月1回、町長会議を開催してきましたが、浦河町1町のみが町長会議の判断について了承が得られておりません。

2月26日には、J R北海道幹部から日高線に対する考え方を改めて確認し、1点目、「護岸整備対策は、具体的な修復の範囲・費用負担などについて道庁と協議を重ねて対応していく」、2点目、「日高線は鉄道より他の交通手段が適している線区としているが、路線を維持する線区に変更する考えはない」、3点目、「J R北海道と各町が個別協議に入ることは、バス転換ありきということではなく、協議を重ねた中で交通モードを判断することは構わない」、4点目、「仮にバス転換となった場合、J R北海道が責任を持って対応していく」、以上の考え方が示されたところ です。

J R北海道の方から「個別協議に入ることは、バス転換を認めた

形にはならない」との見解が示されたところでもあり、仮にバス転換となった場合の運行体系、利便性、J R北海道の支援策などをしっかりと検証しながら交通モードの判断を進めていくことがベターであるとの共通認識のもと、交通モードの絞り込みは一旦保留の形となりますが、管内各町が個別協議に入ることにしたものです。

これまで町長会議の議論の中で、「鉄路復旧は現実的に無理がある」とのことで、交通モードを3案から2案に絞り込みを進めてきたところですが、管内各町の一致した考え方とならず、日高線の問題は管内連携した中で7町の合意を得ながら一体的となつて進めるべき事案であることから、個別協議を進めることにした訳であり、協議の進展により交通モードの絞り込みを行なっていく予定です。

個別協議の進め方は、管内一体的なバス路線体系について協議を重ね、ある程度固まった後に各町における個々の課題などについてJ R側と協議に入ることとし、スピード感を持って対応していきます。

護岸対策は、今回、J R北海道から護岸整備に対する考え方も確認していますし、道としても責任を持って対応していきたいのですが、鉄路復旧を前提とした

護岸と、普通護岸とは整備方法が異なり方向性が定まらない限り、抜本的な対策に着手できなく、町としては、長引くことにより被害拡大の恐れもあり早期な対策を切望しており、道との情報共有に努めるほか、町長会議でも対策について意見を述べていきます。

日高町において、沙流川橋りょうが胆振東部地震の被災を受けたことにより、鶴川・富川間を仮に運行する場合の維持費用などの試算をJ R北海道に求めていたところで、町長会議で試算費用の説明があり、鶴川・富川間の年間維持費は2億1千万円で、地元負担は1億7千万円、J R側は4千万円の負担、また、富川駅の初期設備整備費は1億円で全額地元負担となるなどの報告があったところです。



今後も交通モードの絞り込み検討が進められるJ R日高線

2 国保診療所の常勤医師の退職及び新たな医師の就任について

現在、国保診療所の診療体制は、昨年4月1日から常勤医師内科3名体制を維持し、そのほか出張医師による平日、週末の派遣応援を頂きながら、内科・小児科・外科・整形外科の4診療科について外来診療を対応しており、さらに同年8月1日からは入院病床及び休日夜間における救急外来患者の受入れを再開し、当町における医療提供サービスの充実強化に努めてきたところであります。

そのような状況下におきまして、このたび、西森医師が一身上の都合により本年3月末をもって退職されることになりました。

西森医師は、昨年4月に着任され、わずか1年間の勤務となりましたが、入院病床再開準備から現在の診療所安定運営の基礎を築いて頂き、診療所運営上の業務改革にも多く着手されるなど、凝縮された1年間の勤務内容であったと思われ、今後のさらなる手腕に期待を寄せていたところでありますので、誠に残念ではありますが、退任にあたりまして、心から深く感謝を申し上げます。

なお、西森医師の後任につきましては、地域医療に関心が高く、率先して地域医療の推進に取り

組んでいただけの医師の招聘について努力を続けてきましたが、このたび、本年4月1日から国保診療所に勤務頂けることになりました。

常勤医師として新たに就任いただく医師は、斉ノ内二郎医師であります。

先生の国保診療所における診療科目は外科・整形外科であります。

斉ノ内先生は、「新冠町は軽種馬をはじめとする第一次産業構造の町であり、地域性から高齢化率の向上は避けられず、今後外科及び整形外科の需要は高まる地域であることが見込まれるため、医師としてその手助けをしたい」と強い意欲を示されております。

さらに数々の医療資格を取得されており、豊富な職歴と実務経験を有し、患者さん優先主義のお考えが強く、患者さん一人一人を大切に頂ける医師であると確信しており、新冠町にとりまして適任な医師が国保診療所に加わることとなります。

町内唯一の一次医療圏における医療機関として、町民の安心安全や健康保持のため、入院病床及び休日夜間における救急外来患者の受入体制のさらなる強化のためにも、必要度が高いと判断し、外科・

整形外科医師の採用を決定したところであります。

なお、現在出張応援医師により対応していただいております、風間整形外科医師の毎週金曜日午前中の診療は、これまで同様続けさせていただきますので、是非とも併せてご利用頂きたいと存じます。

これからも国保診療所職員が一人丸となり、良質な医療を提供し、信頼される診療所運営に努めてまいります。



今後も更なる良質な医療の提供が期待される国保診療所

3 農業支援員の新規就農について

当町では、農業の担い手づくりと地域活動を支える人材を確保することを目的に、新冠町農協や農

業委員会、農業改良普及センター、農業共済組合で構成する「新冠町地域担い手育成総合支援協議会」を組織し、新規就農対策事業を推進しております。

具体的な施策といたしまして、平成20年度に就農施設等整備費補助金制度を設け、農業資産の取得に対する支援を始め、平成23年度からは地域おこし協力隊・農業支援員制度を運用し、研修先となる受入農家の協力を頂きながら、農業生産に係る技術の取得と経営ノウハウを学び、担い手としての資質向上を目的とする人材育成を進め、ハードとソフトの両面から事業の充実を図ってきたところであります。

今般、平成28年6月から農業支援員として研修を積まれてきた方が昨年12月に支援員を卒業し、本年1月から酪農家として新規就農をされてございます。

新たに就農されたのは、千葉県から当町に移住された小野暢茂さんとそのご家族で、就農地は泉地区です。

現在は研修などを通じ、お世話になりました農家の皆様や泉自治会の皆様方の協力を頂きながら、精力的に生産活動に取り組まれていると聞いております。

農業者としての第一歩を進めた



小野さんの新規就農激励会



農業支援員として
研修を積んだ小野さん

ばかりではございますが、当町農業を牽引するリーダーとして成長されることを切に期待するところです。

新規就農制度を創設して以降、当町に移住・定住し、独立就農されたご家族は14世帯37名となり、担い手の確保や人口増加対策として一定の成果があったものと存じますが、今後も農業者人口の減少が見込まれておりますので、関係団体との連携を深めながら新規就農対策に努めて行きます。

4 福祉灯油支給事業の実施結果について

昨年から灯油価格の高騰が続き、暖房用灯油の需要期に入りましても高値水準が継続していることから、日常生活への影響を特に大きく受ける高齢者世帯や障がい者世帯、ひとり親世帯などで、町民税が非課税の低所得者の方を対象に、1万円分の灯油券を支給することにより、経済的な負担軽減などを図ったところです。

支給申請の受け付けにつきましては、平成31年1月15日から2月15日までの1ヶ月間とし、町政事務委託文書によるチラシの全戸配布や公共施設などへのポスターの掲示のほか、民生委員や児童委員、住宅支援事業所のケアマネージャーなどへも、地域住民に対する制度の周知や助言などの協力依頼を行ったところです。

結果、前回実施した平成26年度とほぼ同数の385世帯から申請があり、町民税課税世帯などの支給対象外世帯を除く336世帯に「あったか灯油券」として交付し、3月31日まで町内の灯油取扱店で使用できることとしております。

支給世帯の内訳ですが、高齢者世帯が290件、障がい者世帯が19件、ひとり親世帯が27件となっております。

教育長行政報告

1 学校運営協議会制度について

平成32年度から導入されます学習指導要領に新たに創設された前文には、教育基本法に基づく教育の目的・目標が掲げられるとともに、社会との連携及び協働による「社会に開かれた教育課程」の実現が説かれており、これを実現するために、よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創るという理念を、学校と社会が共有し、双方が密接な連携を進めるとともに、協働体制の構築を図ることが必要と言われております。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）は、「地域とともにある学校づくり」を目指した制度であります。「これからの時代を生きる子供たちのために」という目標を、学校と社会が共有し、社会総がかりで子供たちを育む体制を作るためのものであり、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた教育環境整備の有効な取り組みであります。

当町では、平成31年度からの導入を目指し、平成30年度において、精力的に準備を進めてきておりまして、本年1月、2月には、導入

に向けた最終段階としての位置付けで、研修会と視察研修を行ったところです。

当町における学校運営協議会は、現在の学校評議員会を発展的に移行し各校に設置するほか、当町独自の取り組みとして、地域全体で幼小中の各教育課程を支援する体制を構築するため、「コミュニティ・スクール推進委員会」を組織し、幼児・義務教育期間12年間を見据えた支援体制づくりを推進していきたいと考えております。

なお、3月中には当町の学校運営協議会制度導入に関するアクションプラン（行動計画）を作成し、町民の皆さんに周知することとしております。



コミュニティ・スクール研修会



3月25日に举行された卒園式

2 平成31年度の認定こども園ド・レ・ミの入園希望の状況について
 平成31年度の入園希望者数は全体で164名でございます。
 入園定員数は条例で定めておりますが、例年、職員数や面積基準に並び、条例定員を超える受け入れを実施しており、平成31年度においては既に、2歳児定員24名のところ、31名の入園希望があり、現状の保育室の面積では受け入れができません状況です。
 町全体で、子育てしやすい町づくりを進める上で、待機児童が発生しないための方策について、町長部局と協議を重ねた結果、面積基準を確保した上で、2歳児の入園希望に応えるため、単年度に限り、子育て支援センターと2歳児保育室を入れ替え、受け入れ対応を進める方針といたしました。



4月3日に举行された入園式

3 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

本調査については、例年同様、小学5年生、中学2年生を対象に、実技8種目に加え、児童生徒に対する質問紙調査、学校及び教育委員会に対する質問紙調査の内容により、4月から7月末までの期間で行っております。
 調査結果については、本年1月17日付けで文部科学省から教育委員会、各小中学校へ通知されており、期間が間もないことから、現在、詳細な分析や、対策に関する協議を行っている最中でありまして、概略のみの報告とさせていただきます。
 実技調査における8種目の総体を示す、体力合計点については、小中学校とも、男子が全国平均と同様、女子が「やや高い」とい

う結果でありました。
 今回の体力調査で特徴的に見られたのは、昨年に引き続き、AからEの5段階で評価する総合評価において、下位層でありますD群、E群の人数が少なく、継続的な取り組みが効果を上げていることが伺われます。
 また、質問紙調査の小中学生において「運動部やスポーツクラブ以外で運動することがよくある」と回答した児童の割合が男女ともに全国を上回り、中学生においては「中学校卒業後、自主的に運動したいと思う」と回答した生徒の割合が男女ともに全国を上回っております。
 このことから、小学生、中学生ともに、スポーツの日常化が定着している結果が見受けられるほか、学校質問紙においても、全ての学校で体育授業の目標を児童生徒に示す活動や、校内における、指導方法の工夫・改善についての検討機会を設定するなどの取り組みを積極的に取り入れていることが確認できております。
 一方で実技においては、小中学校ともに「50M走」が全国・全道平均より低く、また、中学校男子においては「20Mシャトルラン」が全国・全道平均より低い結果であったほか、小学生の質問紙調査

においては、「体力・運動能力に自信がない」との回答割合が高く、走力や持久力、運動能力の向上への意識に課題が見受けられる結果となっております。
 以上のような結果を含め、今後、更に詳細な分析を加えた上で、体力向上委員会の機能を活用し、有効な対応策について協議を進めていきたいと考えております。



新冠中学校の縄跳びによる体力向上の取り組み

4 新冠中学校卒業生の進路希望状況について

総生徒数44名中、進学が43名、進路相談継続者が1名の状況となっております。進学の内訳では、静内高等学校が27名、静内農業高等学校が6名、私立高校の単願が3名、管外公立高校が7名の出願状況となっております。

小学生12名と中学生9名 沖繩研修の成果を堂々と発表



3月1日、レ・コード館で小学6年生と中学1年生の計21名が参加した、『少年国内研修交流事業報告会』が開かれました。

報告会では、沖繩研修と事後研修を通して、調べ学んだことを「自然・環境」、「平和・歴史」、「文化・交流」の三つのテーマごとに発表しました。

最後には、研修結果をまとめたDVDを上映しました。

新冠町と平取町合同開催 いきいき百歳体操で筋力アップ!!



3月5日、レ・コード館で『いきいき百歳体操』が開かれました。

この体操は、高知県で開発された筋力向上のための体操で、介護予防効果が実証されており、今回は平取町と合同で実施されました。

それぞれの地域で活動の内容が異なり、お互いの工夫点を紹介し合いながら、参加者49名が交流を深めました。

新小学1年生へ『愛の鈴』 恵寿荘へは『車椅子』を寄贈



3月5日、町商工会女性部から教育委員会に「愛の鈴」と、恵寿荘に「車椅子」が届けられました。

「愛の鈴」の寄贈は、昭和52年から続けられている恒例行事で、4月から新1年生となる児童の無事故を願い、会員が手作りしたお守りは、教育委員会に届けられた後、入学式に合わせて新1年生に手渡されました。

また、「車椅子」は、全道の商工会女性部がリングブルなどの回収により、道内福祉団体などに車椅子を寄贈し、社会に貢献することを目的に実施されているもので、今年は、当町の恵寿荘へ寄贈されました。

題

あれこれ

こども園 年長組対象 ミニサッカー教室の開催



3月5日から全4回日程により、町民スポーツセンターで『ミニサッカー教室』が開かれました。

この教室は、4月から新1年生となる園児を対象に、運動することの楽しさや仲間意識の高揚を図ることを目的に毎年実施されています。

園児たちは、ボールコントロールに苦戦しながらも皆で楽しくボールを追いかけていました。

全道柔道大会で準優勝 新冠中学校福田兄弟に特別賞



3月7日、新冠中学校で『日高管内教育実践表彰式』が開かれました。

これは、昨年7月に釧路市で開催された、北海道中学校柔道大会個人戦の各階級で準優勝を果たした、新冠中学校3年生の福田翔梧君と1年生の福田誠弥君の活躍によるもので、波岸日高教育局長より、特別賞が贈られました。

全道各地から25チーム参加 レコピースジュニアA 大会2連覇!!



3月3日、札幌市で開かれた『第18回道新杯小学生雪合戦大会』で、昨年も優勝した「レコピースジュニアA」が見事大会2連覇を果たし、当メンバーが3月8日、町長に優勝の喜びを報告しました。

この大会の準決勝では、レコピースAとBの新冠勢同士が激突、レコピースAが接戦をものにし、勢いそのままに優勝を勝ち取りました。

馬産地観光への取組による

新たな可能性

3月16日、レ・コード館で町観光振興推進協議会主催による『馬産地観光シンポジウム』が開かれました。

同協議会は、平成28年に設立され、女性競馬ファン向けのコンテンツ造成に取り組みでおり、シンポジウムでは、乗馬クラブの利用客は圧倒的に女性が多く、今後、女性をターゲットに、乗馬と馬のお世話体験をセットにした事業展開が、紹介されていました。



ま ち の

話

詐欺被害が増えています

皆さんは大丈夫ですか？

3月6日、レ・コード館で『高齢者権利擁護講演会』が開かれ、ひだか総合法律事務所 原弁護士と、札幌方面静内警察署刑事・生活安全課の水野生活安全係長から、オレオレ詐欺や振り込め詐欺など特殊詐欺の現状や予防法などについて、ご講演いただきました。

講演会で原弁護士は、「お金を払ってしまおうと戻ってこない可能性が高くなってしまおう。少しでもおかしいなどと思ったら、まずは家族や警察などに相談することが大切」などと話されました。



小学校・中学校卒業生皆勤賞

ライオンズクラブ表彰授与式



3月19日、町商工会で小学校・中学校を無遅刻、無欠席で卒業した児童・生徒に対し、新冠ライオンズクラブより賞状が授与されました。

授与式では、小学生4名・中学生9名の計13名に対し、田外会長より受賞者一人ひとりに賞状と記念品が贈られ、保護者とライオンズクラブの皆さんの大きな拍手で皆勤賞を祝福しました。

子どもの発達や子育てについて学ぼう!!

悩みを皆で解決しよう

3月27日、保健センターで妊婦さんや生後間もないお子さんと親御さんを対象とした、『母親学級キレイ☆ママるーむ』が開かれました。

この日は、『育児編』が開かれました。この日は、町保健師が子どもの発達や赤ちゃんとの遊び方などについて話しました。

参加者は、保健師や参加者同士で普段抱えている不安や悩みを話し、交流を深めました。



役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

その1

町民生活課からのお知らせ

～ゴールデンウィークの窓口開設～

今年のゴールデンウィークは新天皇即位に伴い、例年以上の大型連休となることから、窓口業務について、下記の日程で開設しますのでお知らせ致します。

なお、この開設日は通常の窓口業務とは違い、対応業務に変更がございますので、内容をご確認のうえご利用ください。

- ・開設日 5月2日(木)
- ・開設時間 午前10時～午後3時まで
- ・開設窓口 役場町民生活課(2番窓口)
- ・対応可能な業務
 - ①住民票の発行
 - ②戸籍の発行
 - ③印鑑証明の発行と登録



※5月2日(木)は、上記の発行業務のみの対応となりますのでご了承ください。



●問い合わせ先 町民生活課町民生活グループ ☎0146・47・2112

～会社を退職された方へ～

勤務先を退職されたとき、20歳以上60歳未満の方は厚生年金保険から国民年金への変更の届出が必要です。

また、退職された方に扶養されていた配偶者(20歳以上60歳未満)も同様に手続きが必要です。

・手続きに必要なもの

- ①年金手帳 ②印鑑 ③退職日が確認できるもの

～国民年金保険料学生納付特例制度～

20歳以上の方は、学生であっても国民年金への加入が必要ですが、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

この制度を利用することで、将来の年金受給権の確保だけでなく、万一の事故などにより障害を負った時の障害基礎年金の受給資格を確保することができます。

○納付猶予について

年金を受給するのに必要な受給資格(納付期間)へ反映されますが、年金額へは反映されません。

○必要な添付書類

年金手帳、印鑑、学生証の写しまたは在学証明書原本

子育て支援センターからのお知らせ

★おしゃべりルーム★

- ・期日 4月18日(木) 10時～11時30分
- ・内容 『名札作り』
- ・申込期間 4月16日(火)まで
- ・定員 10組(0歳～就学前)



★チャイルドランド★

- ・期日 ①4月25日(木) 10時～11時30分
②5月16日(木) 10時～11時30分
- ・内容 ①『子どもの日制作』
②『子育てコーチング』
- ・申込期間 ①4月12日(金)～4月23日(火)
②4月26日(金)～5月15日(水)
- ・定員 10組(①・②0歳～就学前)

※平成31年度に限り支援センターはドレミ玄関を入った左側のみかん組に移動しています。

●問い合わせ先 教育委員会子育て支援センター
☎0146・47・4525

飲酒運転根絶宣言事業者登録制度

飲酒運転の根絶をより一層推進するため、日高振興局が管内各町及び警察署と連携して、飲酒運転の根絶に取り組むことを宣言した事業者などを登録し、「飲酒運転をしない、させない、許さない」という規範意識の醸成を広く図る制度です。

登録を希望される事業者などにおかれましては、下記までお問い合わせください。

【登録して頂くと】

- ・「飲酒運転根絶宣言の店」登録証が交付されます。
- ・日高振興局のホームページにて登録店を紹介します。

○対象

管内で事業所を営む個人又は法人、その他団体、酒類を提供する飲食店

●問い合わせ先

北海道日高振興局保健環境部環境生活課
☎0146・22・9255

健康相談窓口のお知らせ

＜役場保健福祉課 健康相談＞

町では、健康に関する専門職である保健師・管理栄養士・歯科衛生士が、妊娠期から乳幼児期、成人期から高齢期まで、あらゆる年代の健康づくりをサポートさせていただきます。気軽にご相談ください。

- ・相談例：妊娠・出産・子育て、子どもの成長・発達、予防接種や病気のこと、歯磨きのしかた、病気を悪化させないための運動・食事、メタボを改善したい、認知症が心配など
- ・相談先：平日 8時 30分～17時 15分 保健福祉課（3番窓口）
電話・来庁または家庭訪問での相談を行っています。

●問い合わせ先 保健福祉課保健福祉グループ健康推進係
☎ 0146・47・2113

＜静内保健所 こころの健康相談＞

- ・内容：専門医がこころの健康問題についてのご相談に応じます。
- ・相談例：うつ状態、ストレス、不眠、拒食、人と交流が難しい、ひきこもり、依存症など
- ・相談日：4月12日、5月17日（6月以降毎月第1金曜開催予定）
- ・その他：相談時間 13時 30分～15時 30分／要予約・相談料無料

＜静内保健所 女性の健康相談＞

- ・内容：女性特有の健康上の悩みについて、ご相談に応じます。
- ・相談例：妊娠・出産・子育て、思春期の性、望まない妊娠、性感染症更年期症状など
- ・相談日：4月24日、5月22日（6月以降毎月第4水曜開催予定）
- ・その他：相談時間 13時～16時／要予約・相談料無料

●問い合わせ先 静内保健所 ☎ 0146・42・0251

平成 31 年度室蘭児童相談所 巡回児童相談のご案内

巡回児童相談では、育児や成長・発達などの問題について、室蘭児童相談所の児童福祉司及び判定員が相談をお受けいたします。

- ・相談内容
療育手帳の申請・更新
成長・発達などに関する相談・発達検査

・対象
18歳未満のお子さんとその保護者

- ・日時
1回目 7月 2日（火）
2回目 8月 6日（火）
3回目 9月12日（木）

・場所
新冠町役場

・申込
相談に係る提出書類作成などの事前準備がありますので、相談を希望される方は1ヶ月前までに下記までご連絡ください。

●問い合わせ先
保健福祉課保健福祉グループ福祉係
☎ 0146・47・2113

健康カレンダー

（お問い合わせ先：保健福祉課 ☎ 0146・47・2113）

月 日	時 間	事業名	場 所	
4月	15日(月)	13:30~15:30	認知症カフェ（えま茶）	えましあ
	16日(火)	13:00~16:30	フッ素塗布	保健センター
	23日(火)	受付 10:00~	4・7・12ヶ月児健康診査	保健センター
受付 13:00~		1歳6ヶ月・3歳児健康診査		
10日(金)	10:00~11:30	脳の元気アップ教室 （認知症予防教室）	泊津生活館	
	14:00~15:30		泉生活館	
13日(月)	10:00~11:30	脳の元気アップ教室 （認知症予防教室）	保健センター	
	14:00~15:30		節婦生活館	
14日(火)	受付 13:10~	BCG予防接種	保健センター	
5月	15日(水)	13:00~16:30	フッ素塗布	保健センター
	16日(木)	18:00~20:00	からだリセット講座	保健センター
	17日(金)	10:00~11:30	脳の元気アップ教室 （認知症予防教室）	緑丘生活センター
14:00~15:30		おうるの郷		
20日(月)	10:00~11:30	脳の元気アップ教室 （認知症予防教室）	大富生活館	
	14:00~15:30		新和生活会館	
	13:30~15:30	認知症カフェ（えま茶）	えましあ	

ご寄附ありがとうございました。

（敬称略）

●まちづくりに役立ててと
☆株北海道日高牧場（2,000,000円）

●学校のICT学習環境整備に役立ててと
☆株シティック（ノートパソコン10台）

●老人ホーム「恵寿荘」で役立ててと
☆小田島啓子（タオル1袋）
☆白藤 知鶴（カット布1袋）
☆ボランティアグループちよぼら（カット布5袋）

新冠町社会福祉協議会へ

●香典返しに代えて
☆高橋 喜夫（50,000円）
☆荒木 正弘（100,000円）
☆豊巻 寿博（30,000円）
☆工藤 匡（20,000円）
☆米田 朋泰（20,000円）

●福祉事業に役立ててと
☆Niikappu sweets marche みると
（コヒ-販売の売上14,390円）
☆赤田 繁子（古布1箱）

役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

その2

平成 31 年度新規採用職員



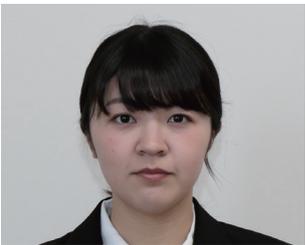
国保診療所
医長兼新冠町地域包括医療
・ケア推進室次長
齊ノ内 二郎



町民生活課町民生活グループ
住民係主事
木村 文音



産業課産業グループ
林務係主事
岩淵 郁斗



管理課管理グループ
校務係主事
伊藤 愛華



管理課こども園グループ
園務係保育教諭
松田 享美



管理課こども園グループ
園務係保育教諭
中村 麻奈

教職員着任式 新しい先生が着任しましたのでご紹介します。



(前列左から) ①高杉 省一(新冠中学校教頭)
②原田 賢(新冠小学校教頭)
③松田 拓美(新冠中学校校長)
④後藤祐美子(朝日小学校教頭)
⑤小笠原 睦(新冠小学校教諭)

(後列左から) ①山口由紀子(新冠小学校教諭)
②樋下 初響(新冠小学校教諭)
③木村 敏基(新冠中学校教諭)
④富樫 陽子(新冠小学校栄養教諭)

職員の動き

4月1日付けで、職員の人事異動がありましたのでお知らせします。

町長部局

課名	発令内容	氏名	前職
総務課	総務グループ財政係長 総務グループ総務係主任	神山 一裕 長濱 叔子	国保診療所庶務係長兼医事係長 町民生活課町民生活グループ住民係主任
企画課	まちづくりグループ総合計画係長	浜口 雅史	議会事務局庶務係長
税務課	税務グループ副主幹兼納税係長 税務グループ賦課係主任主事	土井 静幸 大澤 駿	日高中部広域連合派遣 総務課総務グループ総務係主任主事
建設水道課	管理グループ副主幹兼管理係長兼管財係長	中川 亮二	建設水道課管理グループ副主幹兼管理係長
保健福祉課	保健福祉グループ健康推進係長 保健福祉グループ国保後期高齢者医療係 兼医療給付係主任	斉藤 寿宣 中屋 貴博	建設水道課管理グループ管財係長 管理課管理グループ総務係兼学校教育係主任
出納室	出納室出納係長	山田 佳樹	税務課税務グループ納税係長
国保診療所	国保診療所事務長兼庶務係長兼医事係長 国保診療所庶務係兼医事係主任主事	杉山 結城 会田 千皓	国保診療所事務長 税務課税務グループ賦課係主任主事
老人ホーム	特別養護老人ホーム副主幹兼庶務係長	上村 晃司	出納室副主幹兼出納係長

教育委員会部局

課名	発令内容	氏名	前職
管理課	管理グループ総務係兼学校教育係主査 こども園グループ総括主幹兼庶務係長 こども園グループ園務係園長心得	中村 洋太 坂元 一馬 大沼ひとみ	保健福祉課保健福祉グループ国保後期高齢者医療係 兼医療給付係主任 特別養護老人ホーム総括主幹兼庶務係長 管理課こども園グループ総括主幹（定年退職後、再任用）
社会教育課	体育青少年グループ総括主幹兼体育青少年係長 社会教育グループ施設管理係長	曾我 和久 岡井 朋哉	社会教育課社会教育グループ副主幹兼施設管理係長 管理課こども園グループ庶務係長

議会事務局

課名	発令内容	氏名	前職
議会事務局	議会事務局総括主幹兼庶務係長	伊藤 美幸	社会教育課体育青少年グループ総括主幹兼体育青少年係長

派遣

発令内容	氏名	前職
日高中部広域連合派遣	畠山 綾文	総務課総務グループ財政係長

3月31日付退職者

氏名	前職
坂本 博	産業課産業グループ林務係主任（再任用任期満了）
長谷川 誠	産業課産業グループ畜産係主任（再任用任期満了）

●問い合わせ先 総務課総務グループ総務係 ☎ 0146・47・2497

お知らせコーナー

静内駐屯地からのお知らせ

○一般曹候補生
 ・資格 18歳～33歳未満の男女
 ・受付 5月15日まで
 ・採用試験日 5月25日
 ○その他
 一般幹部候補生（一般・歯科・薬剤科）、自衛官候補生も募集しています。

●お問い合わせ先
 陸上自衛隊静内駐屯地内
 自衛隊札幌地方協力本部静内分駐所
 ☎0146・44・2855

春のヒグマに注意！

4月1日から5月31日は、『春のヒグマ注意特別期間』です。山菜取りなどで山に入る際は、ご注意ください。

- ヒグマに出会わないことが一番
- ①音を出しながら歩く。
- ②うす暗いときは山に入らない。
- ③食べ物やゴミは必ず持ち帰る。
- お問い合わせ先
 日高振興局保健環境部環境生活課
 ☎0146・22・9254

平成31年度調理師試験

次のとおり調理師試験を行います。
 ・受験資格
 寄宿舎、学校、病院などの施設や飲食店営業、魚介類販売業などで2年以上調理の業務に従事した方。
 ・科目 食文化概論・公衆衛生学
 栄養学・食品衛生学

●お問い合わせ先
 静内保健所企画総務課企画係
 ☎0146・42・0251

日高弁護士相談センター

センター開設日
 4月15日(月)・17日(水)
 22日(月)・24日(水)
 5月18日(水)・13日(月)
 15日(水)・20日(月)
 ※相談は予約制となっています。
 ●ご予約・お問い合わせ先
 ひだか弁護士相談センター
 ☎0146・42・8373

すべての相談の相談料が
 あなたの悩みに **無料** になりました。
 コタエを出します
 相談予約ダイヤル **0146-42-8373**
平日 10:00~16:00(12:00~13:00を除く)
 札幌弁護士会 ひだか弁護士相談センター

～古布集めています～
 ご自宅に古シーツや古着などがありましたら、老人ホーム恵寿荘にご持参ください。
 ●問い合わせ
 恵寿荘 ☎0146・47・2355

～広告主募集中～
 1月あたりの広告料は、ホームページが10,200円、広報誌は3,000円となっております。
 詳しくは、担当まで。
 ●問合せ先：企画課広報統計係
 ☎0146・47・2498

OA・文具・家具・カーテン
 株式会社 **リバティー はしもと**
Liberty Hashimoto
 TEL(45)-7021 FAX(45)-7022
 新冠町字北星町2-61(役場の目の前)

スライタルフラワー・スタンド花・アレンジメント
フラワーつつみ
 TEL 0146-47-4878
 FAX 0146-47-4879
 新冠町字東町 19-18
アレンジ教室開催中!

新冠町相談支援事業所 相談室かける
 新冠町にお住いの障がいのある方の様々な相談に対応します
 ○相談は年齢や障がい種別を問いません
 ○福祉サービスの利用、日常生活、仕事等のような内容にも応じます
 ○相談にかかる費用は無料です
 新冠町本町 65-17 えまあ1階 TEL 47-2333

あなたの町のカー & ライフサポーター!!
 BRIDGESTONE カーケア&タイヤショップ
 SUZUKI **ARENA** スズキアリーナ新冠
 新冠郡新冠町中央町5-28 TEL.(47)-2820
 ココロも満タンに **コスモ石油**
 新和SS (47)-5011 新冠SS (47)-3830
株式会社 伊藤商会

ひだか総合法律事務所 (旧ひだかひまわり基金法律事務所)
 弁護士 原 英士 (札幌弁護士会所属) / 原 万里子 (札幌弁護士会所属)
 * 借金・クレジットの返済 * 多重債務 * 交通事故 * 離婚
 * 相続・遺言 * 家賃滞納・不動産 * 悪徳商法 など
 借金・交通事故・相続については、初回相談無料です。☎ (0146) 43-1206
 日高郡新ひだか町静内御幸町 3-1-78 2階 (静内エクリプスホテル向かい)



夜間開館のお知らせ

毎週水曜日は、夜間開館日です。
夜8時まで開館しています。

今月の一冊



一切なりゆき ～樹木希林のことば～

樹木 希林著／文芸春秋

名女優が語り尽くした生と死、演技、男と女。さまざまな雑誌に掲載された樹木希林の言葉をまとめる。ユーモアと洞察に満ちた希林流生き方のエッセンスが満載。

樹木希林年譜、内田也哉子による喪主代理の挨拶も収録。

アニマル号 (移動図書館車) 運行日程

4月18日	10:30～11:00	おうるの郷
25日	10:10～10:30	朝日小学校
	11:00～11:15	太陽郵便局
26日	15:40～15:55	町民センター前(児童館)
	16:00～16:30	認定こども園ド・レ・ミ
5月9日	10:10～10:30	朝日小学校
16日	10:30～11:00	おうるの郷
17日	12:50～13:20	認定こども園ド・レ・ミ
	15:05～15:35	新冠小学校
	15:40～15:55	町民センター前(児童館)
23日	10:10～10:30	朝日小学校
	11:00～11:15	太陽郵便局
29日	12:45～13:10	新冠中学校

新着ガイド

損する顔得する顔	山口 真美
〈あまり〉病気をしない暮らし	仲野 徹
収納上手のインテリアかご	成美堂出版編集部
休日が楽しみになる昼ごはん	小田 真規子
やわらかいごちそう	川上 文代
世界に広めたい日本語大全	斎藤 孝
新章神様のカルテ	夏川 草介
そこにいるのに	似鳥 鶏
さざなみのよる	木皿 泉
どんまい	重松 清
ゆえに、警官は見護(みつめ)る	日明 恩
かわたれどき	畠中 恵
先生、ちょっと人生相談いいですか？	瀬戸内 寂聴
天皇と元号の大研究	高森 明勅

☆イベントカレンダー

4月24日(水) 10:30～ あかちゃん絵本の読み聞かせ

4月27日(土) 13:30～ びっくり箱のおはなし会

・主催 読み聞かせの会「びっくり箱」

・場所 レ・コード館図書プラザおはなしのへや

☆図書プラザ利用者カードはお持ちですか？

図書プラザはレ・コード館の建物の中にあります、新冠の図書室です。町民のみならず近隣町からのご利用も多く、赤ちゃんからお年寄りまで、天窓から光が降りそそぐ明るい書架で静かに過ごすことができる憩いの場となっています。

水曜日は夜間開館日で午後8時まで開館し、午後6時からレコードを聴きながらしっとりとした雰囲気でお楽しみいただけ、子どもの読書週間

や夏休み、季節の催しなどにあわせた特集も随時開催しております。

図書プラザの本や雑誌、DVD・CDを借りるには利用登録が必要です。新冠町に住所のある方は所定用紙にご記入いただき、その場でカードを発行しています。また新聞や雑誌など館内での閲覧は登録不要なのでお気軽にご利用ください。

読みたい本やお探しの資料がある方はお気軽にカウンターへご相談ください。町内にお住いの利用者からの本のリクエスト、当館に所蔵のない本は他館から取り寄せてご用意できる場合がございます。

引越など住所や連絡先の変更がある場合は、利用登録のご変更が必要ですのでご来館の際にカウンターにお申し出ください。

●問い合わせ先 レ・コード館図書プラザ ☎ 0146・45・7777

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第十一話

「北海道指定天然記念物

新冠泥火山について」(要約文)

新冠泥火山における記録で、「この山は明治27年に激しい変動により山体が二つに割れたことがある」という文面が最も古いと思われる。これは、明治27年3月に発生した根室南西沖地震時での活動と推定されますが、具体的にどのような状況であったのかは詳しく分かっていません。

その後、昭和27年3月における十勝沖地震でも活動が見られました。この地震により、全く無名だった小山が「日高小山」として新聞紙上に書き立てられたことから、泥火山は全国的に知られるようになりました。明治27年から58年ぶりの活動となりました。その後、北海道大学によって現地調査が行われ、大小8ヶ所の泥火山群の存在が確認され、初めて地質学的に研究されました。それらの研究の結果、地質的に極めて珍しいという提言があり、昭和43年に北海道天然記念物に指定されています。

昭和57年の浦河沖地震においても泥火山が再活動をしています。新聞紙上では、「生きていた新冠泥火山群」として全国に報道されました。以降、大きな地震に伴っての活動が何度か見られ、主にサラブレッド銀座入口付近の「第8丘」の頂上部で変化が

あります。

新冠泥火山は、一般的に言われる火山活動とは無関係なもので、油田地帯に見られる地層の背斜に沿って断層が走り、地下の泥質物が地震の震動で圧力が加わり、メタンガスを伴いながら泥や水が噴出して出来たものと考えられています。形成の時期については未だ解明されていませんが、過去の活動では1メートル前後の隆起しか見られないことから、数百年以上は経過しているように思われます。

長い歳月を経て私たちの眼前に現れた泥火山は、小山にすぎませんが、過去の巨大地震の恐ろしさを永遠に伝える産物であり、自然の偉大さを教えてくれます。しかし、泥火山の生成については不明な点が多く、後の調査研究に委ねられています。

平成30年9月胆振東部地震時での新冠泥火山の亀裂(最も新しい活動)



*追記：平成時代では、平成5年の北海道東方沖地震、平成15年と20年の十勝沖地震、そして平成30年の北海道胆振東部地震において、泥火山の噴泥や亀裂などの活動がありました。

大切な「日常」のために私たちができること。 消防団員募集

あなたの想いで、守れる町がある。
あなたの想いで、救える命がある。
あなたの想いで、深まる絆がある。 消防署新冠支署

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期			
区分	火災件数	救急件数	
3月	0件 (0件)	29件 (19件)	
31年1~3月	2件 (0件)	88件 (79件)	
交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
3月	0件 (1件)	0人 (0人)	0人 (2人)
31年1~3月	2件 (2件)	0人 (0人)	2人 (3人)

人のうごき

(平成31年3月末現在)

人口 5,495人 (前月比 - 35人)
男 2,694人 (前月比 - 28人)
女 2,801人 (前月比 - 7人)
世帯 2,743世帯 (前月比 - 4世帯)